20銭 (61円53銭安)
1.39 (0.13円安)
74銭 (44銭安)

日刊工業新聞
Business & Technology

発行所©日刊工業新聞社2014

2014年(平成26年) 1 17 14版
第21801号 金曜日

本社 ☎03・5644・7001 東京都中央区日本橋小舟町5-1 大阪支社 ☎06・6535・3321 大阪市中央区北浜2-6 名古屋支社 ☎052・931・6135 名古屋市東区泉2-2-28 産業支社 ☎052・271・5111 名古屋市中区栄1-1

総合 三

第31回優秀経営者顕彰

山井社長(スノーピーク)ら表彰

「日本発展の役に立つ」

最優秀経営者賞を受賞する山井スノーピーク社長㊨

日刊工業新聞社は16日、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで「第31回優秀経営者顕彰」の贈賞式を開き、最優秀経営者賞を受賞したアウトドア用品製造を手掛けるスノーピーク(新潟県三条市)の山井太社長ら29人を表彰した。同顕彰は、優れた経営手腕で地域経済や社会に貢献した中堅・中小企業経営者をたたえるもので、推薦された候補者の中から経営指標や人物評価、業界・地域社会への貢献度を基準に選定した。贈賞式には来賓の経済産業省・中小企業庁の北川慎介長官をはじめ、200人が出席した。(3面に関連記事)

主催者を代表して井水治博日刊工業新聞社社長があいさつした後、選考委員長代理として東京中小企業投資育成の望月博文社長が選考経過を報告。井水社長が受賞者に表彰盾と副賞を授与した。

受賞者を代表してスノーピークの山井社長は「当社は(同社製品をこよなく愛する)スノーピーカーと呼ばれる熱烈なファンの方が支えてくれる会社」とした上で、「愛用者の側に立った経営を貫いてきたことが受賞につながった」と謝辞を述べた。さらに「受賞を機に一層社業に励み、日本経済の発展に貢する会社になる」と決意を新たにした。

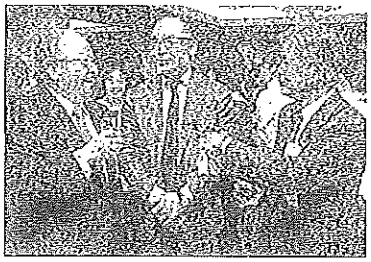
産業春秋

正月にごちそうをたらふくいただいた人も多いことだろう。「おいしいものを食べるとほっぺたが落ちそうになる」というが、いまだかつて頬が落ちそうになった人をみたことがない▼でも、おいしいものを食べるとほっぺたが落ちそうになる人をみたことがある▼ハートをパソコン向け冷

日本支える中小の発展を

優秀経営者顕彰

新春合同パーティー

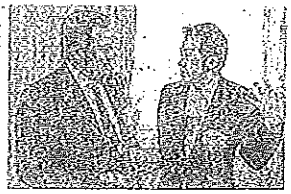


歓談する受賞者ら

本社・産業人クラブ連合会

日刊工業新聞社と日本産業人クラブ連合会は16日、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで、第31回優秀経営者顕彰の祝賀会を兼ねた「新春合同パーティー」を開いた。井上裕之東京産業人クラブ会長(愛知産業会長)は「2014年は明るい年にしなければならない。日本を支える中小企業が発展するようにがんばろう」と乾杯の発声を上げた。約200人が参加した。(1面参照)

来賓のインドネシア・日本友好協会のラフマット・ゴーベル会長は「13年末にインドネシアで開いたスマートコミュニティーの展示会は3日間で約6万人が来場して大盛況だった。両国の関係がますます深まった。さらに付加価値を生み出す関係になりたい」と強調した。またタニタ(東京都板橋区)の谷田千里社長は「14年は社員向け健康プログラムを多くの企業に提案したい」とあいさつした。



歓談するインドネシア・日本友好協会のゴーベル会長㊨とタニタ社長の谷田氏

小規模企業の支援策が課題

企業庁長官

第31回優秀経営者顕彰贈賞式には、経済産業省・中小企業庁の北川慎介長官が出席。受賞者に祝辞を述べた。あいさつは次の通り。

◇

イノベーションの促進や創業支援、海外展開支援などさまざまな中小企業政策を展開していますが、地域経済に着目し小規模企業をどう支えていくかは課題のひとつです。

とりわけ中小企業・小規模企業を活性化していくには先輩経営者の存在が重要であると考えています。政府、自治体、支援機関はもちろん中小企業の皆さまを応援していきますが、最も参考になり、同時に頼りになるのは先輩経営者。こうした方々が地域経済を引っ張っていく姿を支えていきたいと考えています。

今回各賞を受賞された皆さまは、まさにさまざまな事業にチャレンジしイノベーションを実践し雇用を生み出している方々です。政府全体としても支援していきますが、地域経済および日本のイノベーションを牽引していくうえで皆さまのお力をお借りしたい。

祝辞を述べる北川企業庁長官